



特集

山形の産業政策を考える学習会

あの情熱官僚“間宮課長”が、中小企業政策を熱く斬る！

中同協役員研修会

リーダーとして、同友会理念を実践し、発信しよう

支部総会報告 part2



山形の産業政策を 考える学習会

あの情熱官僚“間宮課長”が、 中小企業政策を熱く斬る！

山形同友会では、今年度から中小企業憲章が閣議決定された6月を「憲章月間」と位置づけ、中小企業憲章の浸透の為に行政や他団体等とともに学ぶ取組を推進しています。それを受けて6月13日に、「山形の産業政策を考える学習会」を山形市中央公民館で開催しました。会員をはじめ、県、山形市職員、金融機関、県・市議会議員の方など50名が出席しました。

講師に、経済産業省 中小企業庁の間宮淑夫課長を招き「中小企業憲章と中小企業政策」のテーマで講演をしていただきました。

中小企業憲章は、同友会理念と符合する



中小企業憲章を読みその精神に触れるとよくわかるのですが、そこに書かれているのは、まずあなた(の会社)が率先垂範して良い経営者になりなさい、良い会社になりなさい、良い経営環境をつくりなさい、そして国民や地域と共に歩む「経済と社会の主演」となって活躍しなさい、あなたの会社がきっとそうなるように国は全面的にサポートいたしますというものです。

これはどこかで聞いたことがある内容です。実は中小企業憲章は同友会の理念と驚くほど符合しているのです。憲章は同友会活動に参加しているとストーンと腑に落ちるものであり、自社の立ち位置＝私たちの経済及び社会活動の成果を照らし合わせる「鏡」なのだと気づかされます。しかも、国はあなたを全面的にサポートするから誇りを持って真剣に頑張ってくれと言っているのです。ですからこの憲章をもっと国民に浸透させなくてはならないし、まずは多くの会員に学ぶ機会を提供すべきだというご意見もいただきました。来てよかったという感想がほとんどであり、お蔭さまで素晴らしい学習会になったと思います。

これはどこかで聞いたことがある内容です。実は中小企業憲章は同友会の理念と驚くほど符合しているのです。憲章は同友会活動に参加しているとストーンと腑に落ちるものであり、自社の立ち位置＝私たちの経済及び社会活動の成果を照らし合わせる「鏡」なのだと気づかされます。しかも、国はあなたを全面的にサポートするから誇りを持って真剣に頑張ってくれと言っているのです。ですからこの憲章をもっと国民に浸透させなくてはならないし、まずは多くの会員に学ぶ機会を提供すべきだというご意見もいただきました。来てよかったという感想がほとんどであり、お蔭さまで素晴らしい学習会になったと思います。

私たちが主演になり、中小企業憲章のプレイヤーになろう

中小企業を地域の主演にしようとする活動はとてつもなく大変です。しかし「せめて自分の会社が地域の主演となってみせる！」という足下からの実践は決して不可能ではありません。私たちはそのことをよく知っていますし、経営指針セミナーを受講した会員の経営理念には実際にそう書かれているではありませんか。

自らが果たして地域の主演たりえるのか？地域経済を支え牽引していけるのか？家族のみならず従業員を幸福にしていけるのか？等々熟慮すべき経営課題はたくさんあると思いますが、逆を言えば、そこにこそキラリと光る同友会活動の意義があることは言うまでもありません。またこの憲章を読めば

同友会の持つ経営課題解決への可能性に国もおおいに期待していると感じ取ることができます。是非、同友会会員たる私たちは憲章ウォッチャーではなく憲章プレイヤーなのだという意識を持つてはどうではありませんか。

同友会の輪を広げていこう

同友会活動の輪を拡げることは、国の掲げる「中小企業を軸とする日本経済の発展戦略」と合致します。同友会の会員を増やし持てる力を強くすることは、その活動そのものから憲章の精神を多くの国民に浸透させる絶好のチャンスであり、①世界経済の激変に耐える産業構造をつくる、②そのために日本経済の成長の中身を中小企業中心に変えていく近道です。そしてさらにその先には「国民一人ひとりを大切にす豊かな国づくり」が実現していくこと



になります。

山形県中小企業振興条例の制定を

中同協的な大きな話になってしまいましたのでこれを足下に戻します。憲章プレイヤーが「せめて自分の会社だけは」という一隅を照らす光となり、それらがどんどん増殖して明るく元気な地域社会が出来ていくとすると、そこに必要なものは憲章精神に根差した山形県中小企業振興条例です。

この条例を制定しようという運動は、3年の時を経てようやく実現しようとしています。より身近な、具体的な、地域に根差した「足下実践の鏡」としての条例を大きな期待とともに心待ちにしたいと思います。

政策委員会では、支部への「出前憲章講座」を準備中です。是非憲章に触れて感動を味わってみてください。私たちにとって憲章は「これは良いね」と納得できる内容であって全然難しくありません。以下これだけはお約束します。参加すればやる気ができます。もっと語り合いたいと飲みに行きたくなります。そして飲んだ後に星空を眺めたくくなります。まるであの日の川合代表理事のように。

(政策委員会副委員長 土屋和浩)

リーダーとして、同友会理念を実践し、発信しよう



第18回中同協役員研修会が、5月30日、31日の2日間、宮城県秋保リゾートホテルクレセントで開催されました。北海道をはじめ愛知同友会、東北6県から100名が参加、山形からは7名が参加しました。

昨年の東日本大震災後に被災地である宮城で開催できたこと、被災県からの参加者が多かったことが特長です。この役員研修は、全国的視点にたち同友会運動を進める各県のリーダーの養成を目的として、中同協主催で2003年から開催されています。

主催者挨拶では、鋤柄会長が、「全国で5万名の会勢をめざしている。直接会員と触れているリーダーのみなさんに同友会の魅力を語ってもらい、組織強化につなげてもらいたい。『中小企業憲章』推進のリーダーになろう」と述べました。

経営者の「1万時間の法則」



1日目は、第1講を鋤柄会長が「地区・支部役員の役割は何か同友会で何を学び、どう実践するのか、～同友会のリーダーの使命～」と題して講義。入会歴32年の鋤柄氏は、同友会に入ってから経営者の責任に目覚め、苦勞しながら社内の課題を解決し、企業発展へと導いてきました。

経営指針、共同求人、社員教育で同友会らしい経営を実践してきた鋤柄会長の「同友会と自社の経営は不離一体」の言葉が響きます。野球にたとえ、「社長一人頑張っても強くなれない。9名ざりざりでも伸びない。だから補欠が必要」と若い社員の人材育成を強調。全社一丸体制にしようと思ったら、考え方、理念、将来のビジョンを示すことが経営者の役割。

リーダーの役割として、プレーイングマネージャーの脱却が必要と、「1万時間の法則」を紹介しました。ピアノやバイオリンを習っている子どもたちが舞台上上がる為に、1万時間の練習が必要だそうです。これが経営者であれば、1日2時間勉強したとして、1年間300日600時間で、16年6カ月かかることになります。「経営は楽譜どおりにいかないが、仕事をしながらも1日2時間は自分で時間をつくろう」と語りました。

同友会の学びを有機的に実践しよう

2日目は、第2講を広浜幹事長が、「同友会運動の発展のために、同友会理念と企業づくり一学べる組織、減らない組織、増える組織をめざして」と題して、経営体験と実践事例を織り交ぜてお話ししました。

広浜氏は、同友会で学んだことを有機的に実践につなげるために、しっかりメモをとり、重要なところには印をつけ、自社の課題と突き合わせて、スケジュール表に書き入れました。役員になると話をする機会が増え、同友会理念を、実践事例を通じて語ってもらいたいと強調。

参考資料として使われた「同友会運動の発展のために」は、

先輩経営者たちの到達点として成文化されたもので、一言一句が確かな経験に裏打ちされたものです。

「自主・民主・連帯の精神」は、「自主は積極的な意思を尊重」「民主は相互尊重」「自分ひとりで完結する仕事はない」と連帯の深い意味を説明しました。

参加者に、同友会理念の普遍性に自信を持ち、新しい学びを今までの学びと有機的につなげ実践につなげて行くこと、まわりに伝えていくことをお願いし、61歳になった広浜氏は、「同友会があって今の人生がある。55歳からはお返しの人生」と学んだことを活かしていきたいとまとめました。

望ましい結果を生み出す、新しい原因をつくろう

第3講は、宮城同友会には44回目と語る赤石相談役が講師を務めました。「半世紀を超えた同友会運動、その歴史と理念に学ぶー「労使見解」を生み出した中小企業家の知恵と努力、今日的価値についてー」と題して講演。同友会創立の諸先輩の「思いの継承」の使命を持って熱く語りました。

はじめに「今、私たちは何をやろうとしているのか」と問いかけます。「物事には、原因のない結果はない。会社の現状に不十分さがあるとしたら、その原因を創り出したのはご自身です」と指摘し、今、私たちは新しくそして望ましい結果のために、我々の力で新しい原因をつくろうとしているのだといいます。

「人間が動くということに当てはめると、動機のない人間行動はなく、どんなことにも動機がある」と語る、会歴50年の赤石相談役の言葉は重いが、新しい原因をつくる当事者であることを教えていただきました。

地域、企業、同友会においても、「云うべき時に、云うべき事を、しっかり云うこと」が大切であること。社員と共に幸せな生活を実現していくために、今こそ、自立した人間として、発信し行動していこうとお話には、気持ちが引き締まりました。



置賜支部

時代の変化に対応できる強い企業をつくろう



5月24日、ホテルサンルート米沢に於いて、「第16回置賜支部総会」が開かれました。

総会では、「時代の変化に対応できる強い企業をつくろう」をスローガンとして、「独自性を生み出す企業づくり」「本音で語り合える例会づくり」「地域の未来を見据えた支部づくり」の方針を決定。その先頭に立つ役員として11名の支部幹事を選出し、支部長には島貫栄氏が再任されました。

挨拶に立った島貫支部長は、「昨年、東日本大震災では、同友会の仲間がいち早く復興に向かって動き出しました。我々も負けずに頑張っていかなければならない。皆さんの協力をいただいて地域と企業のために活動していきたい」と、述べました。

記念講演では、2010年に山形で開かれた「第38回青年経営者全国交流会」の特別分科会で講師をされた遠藤英氏(私立九里学園高等学校教諭)が、「上杉鷹山の訓え～明るい未来を拓くために～」と題して、講演しました。

遠藤氏は、「日本では約500年前に農業社会から商工業社会へ変化した。今、商工業社会から情報社会に変化した。今の政治・経済・社会のシステムは商工業の時代に生み出されたものだから無理がきているのは当たり前。新しい時代を先取りして

いかなければならない」と述べ、変化に強くなるにはまず足場を固める必要があり、それには、経済活動と倫理(学問・文化・伝統)のバランスが大切と、上杉鷹山の改革を例に挙げて強調しました。

そして、情報によって消費者は商品を選んでいる。情報の正体は不可価値で、他のものと違うということに価値がある。日本人はみんなと同じでなくては不安というが、それは明治以降の教育で培われたもので、江戸時代までは独創的・個性的でのびのびしていた。そのDNAは失われていない。自由な独創性を取り戻そうと述べ、「謙」と「礼」の心を持つことを提起しました。

参加者からは、「自分の価値観をどう考えるかによって見方が変わる事を知った。正しい見方こそ新たな事業に役立つと思った」「商工化→情報化に変わっていく時代の中で、私共製造業は情報化を無視出来ない事を学んだ。情報で収入を上げるには、自社製品に他と違った情報の付加価値を作る事の大切さ、自分の考えで動き他の人に合わせる事がすべてではない事の大事さを実感」など、感動の声が寄せられました。



寒河江支部

実践あるのみ！ ～成果は学びと行動から～



第26回寒河江支部総会が、5月21日、ホテルサンチェリーで開催され40名が参加しました。

第1部の総会では、支部活動方針を決定。スローガン「実践あるのみ！ ～成果は学びと行動から」を軸に、「自社の強みを深め、それを活かした強靱な企業づくり」「学びをしっかりと実践につなげられるような例会づくり」「経営を率直に語り合

える支部づくり」に取り組みます。そして、全国行事、全県行事にも積極的に参加し、他流試合に臨みます。

支部役員には、新幹事1名が増え8名となり、支部長に後藤社長、副支部長に佐藤社長、水戸部部長が選ばれました。

経営の本質を掴み、実践しよう

第2部記念講演は、奥山税理士に「実践しよう！経営の本質を～売上因数分解を試してみませんか」と題して講演。

奥山氏は、経営の本質として、①あなたは何者ですか(信頼できるか・どんな価値を提供するのか)②あなたの商品・サービスでどんな徳をするのか③あなたの存在意義(あなたでなければならない理由)の3点をあげ、これは顧客の要望につながります。

経営の因数分解は、売上を上げる定義ですが、単価以上に客数(数量)をどう増やしていくかなど、5つの販売戦略を説明しました。

ゼロ成長下で、激しい競争時代が起こっています。戦略とは

ライバルと戦って勝つ作戦。中小・零細企業の不況下の戦い方として、勝てる場の選択、勝てる条件、ファンづくりの獲得を強調しました。「経営者は時流に乗っているか」「顧客志向であるか」と問いかけます。自社を取り巻く現状認識をし、自社の強みは何か、何故選ばれるのか、学んだことを自社に落とし込み、実践へとつなげていく機会となりました。



さくらんぼ支部

経営に深く関わって、強い企業になろう

5月22日、第18回さくらんぼ支部総会がさくらんぼタクトルセンター(東根市)で開催され、46名が参加しました。

総会では、「経営者の熱い想いで、考動経営！」のスローガンのもと、地域になくてはならない企業づくりをめざし、学びあいの例会づくりに力を入れていきます。1年間の例会報告者が決まっており、事前打ち合わせを大切に、お互いの経営に深く関わり、強い企業づくりに取り組んでいくことを、さくらんぼ支部の特長にしていきます。

支部役員は、2名の新幹事が増え11名体制となります。昨年に引き続き、支部長に及川支部長、副支部長に奥山社長、水沢社長が選ばれました。さくらんぼ支部は、どうすれば良くなるか常に考えて行動し、元気で明るく、そして何よりも楽しい活動をしていきます。

基調報告は、さくらんぼ支部会員でもある 蔵王米菓(株) 社長 奥山康博氏が「表に出ないブランド化で存在価値の高い企業づくり」をテーマに経営体験を報告しました。

地域になくてはならない会社になりたい

「くるみ揚げ」「揚げ芭蕉」などを製造している煎餅屋さんと思いきや、実は多彩な商品を製造し自社ブランドは20%しかありません。高品質高付加価値のトップブランドのOEMが中心です。黒子に徹し、大手がやらないような面倒なことをやり、「絶対的安全性」で相手のブランドを守っています。お客様の要望に応えるために、確かな技術力と設備能力を高め、製造機械まで作ってしまうとは驚きです。

「最高のものを作るには最高の設備」「相手の上をいく商品開発力とそれを裏付けるテストの繰り返し」と常に研究開発をしています。

そして、会社の為の社員ではなく、社員の為の会社であると「1/3分配主義」を貫いています。利益は3分の1ずつ社員、会社、税金。利益を税金対策にすると会社の体力がつかないといえます。

同じ時間、同じ仕事をして区別がつけられないので、54名全員が社員さんでパートは一人もいません。

創業者の父の「村山でとれた米で煎餅をつくれば、地元の農家が潤うのでは」との精神を受け継ぎ、「直接的、間接的に役に立ち、なくてはならない会社になりたい」と語る奥山社長の報告に、参加者一同感銘を受けました。



2012年度 各支部役員

●山形支部

支部役職	氏名	企業名	役職
支部長	青柳 等	やまがたシティエフエム(株)	代表取締役
副支部長	阿部 秀顕	(株)山形ビッグファーム	代表取締役
副支部長	浅野 裕幸	(株) ダ ン ケ	専務取締役
副支部長	堀 孝浩	(株) 海 谷 商 店	代表取締役
副支部長	金田 史生	(有) 山 形 E 旅	代表取締役
支部幹事	加藤 滋	かとう事務所	代 表
支部幹事	小関 昌典	小関建築工房一級建築士事務所	チーフ
支部幹事	菅原 茂秋	(株) ティスコ運輸	代表取締役
支部幹事	岩見 信弘	(株) アサヒ印刷	代表取締役
支部幹事	佐藤 啓	(株) サニックス	代表取締役
支部幹事	高橋 明	(有) グッピー園	代表取締役
支部幹事	荒 憲二	ゼルプロモーション(株)	営業部部长
支部幹事	兼子 和伴	兼子会計事務所	所 長
支部幹事	西村 清	西村総合保険	代 表
支部幹事	服部 正	(有) 山形商美社	代表取締役
支部幹事	三沢 徳真	(株) ミサワ車体	代表取締役
支部幹事	伊藤 誠	城北電気工事(株)	専務取締役
支部幹事	工藤 和弘	(株)山形レジャー企画	代表取締役

●庄内支部

支部役職	氏名	企業名	役職
支部長	北風 秀明	(株) アイディア	代表取締役
副支部長	菅原 政久	(株)セロン東北鶴岡営業所	所 長
副支部長	佐藤 涉	(有)トータルハウジング夢空間	代表取締役
副支部長	菅原 司	(有) 菅原運送	代表取締役
支部幹事	玉津 弘之	(株) タ マ ヅ	代表取締役
支部幹事	渡会 智	(株) 宮 島 屋 旅 館	代表取締役
支部幹事	鈴木 由利	ウエルネスケア	代 表
支部幹事	佐藤 博幸	共生社会福祉サービス(有)	代表取締役
支部幹事	野口 高志	(株) ニ ー ズ	代表取締役
支部幹事	佐藤 知志	(有) 大 山 ボ デ ー	専務取締役
支部幹事	前野 智	(株)スマイルトレード	代表取締役
支部幹事	金内 恵子	(有) カ ナ ウ チ	代表取締役
支部幹事	伊藤 雄一郎	山形オートリサイクルセンター(株)	代表取締役
支部幹事	小寺 祐也	(有) 寝 装 こ で ら	代表取締役

●寒河江支部

支部役職	氏名	企業名	役職
支部長	後藤 智樹	寒河江物流(株)	代表取締役
副支部長	佐藤 弘康	(株) さ と う 電 熱	代表取締役
副支部長	水戸部 厚史	(有) 水 戸 部 塗 装	取締役部長
支部幹事	安藤 昌則	(株) アドクリーン	代表取締役
支部幹事	鏡 芳昭	(有) 鏡 豊 店	代表取締役
支部幹事	志田 宏	(有)住まいる一む情報館	代表取締役
支部幹事	若木 義寛	若木社会保険労務士事務所	所 長
支部幹事	穂積 勇人	穂積繊維工業(株)	代表取締役

●さくらんぼ支部

支部役職	氏名	企業名	役職
支部長	及川 忠幸	(有)東根給食センター	代表取締役
副支部長	奥山 正樹	(有)グローバル物流	代表取締役
副支部長	水沢 正志	(株)アイ・タックル	代表取締役
支部幹事	伊藤 和憲	(株) 伊 藤 青 果	代表取締役
支部幹事	黒沼 建一	(有)黒沼建築設計事務所	代表取締役
支部幹事	齋藤 和彦	トヨタライン(株)	常務取締役
支部幹事	白鳥 明美	(有) 東 住 宅 産 業	常務取締役
支部幹事	武田 博志	(有) 武 田 自 動 車	代表取締役
支部幹事	村山 裕樹	(株) 村 山 運 送	代表取締役
支部幹事	工藤 勝	(株) 工 藤 自 動 車	代表取締役
支部幹事	斉加 義三	斉 加 商 店	代 表

●置賜支部

支部役職	氏名	企業名	役職
支部長	島 貫 栄	(株) サ ン 十 字	取締役副社長
副支部長	長 沢 武	(株) 長 沢 建 設	代表取締役
副支部長	青木 義洋	置賜ツバメ石油(株)	代表取締役
副支部長	佐藤 松雄	テン・ソフトウエア(株)	代表取締役
支部幹事	豊いずみ	(有) ひ な た	代表取締役
支部幹事	八代 昌弘	(株) 八 代 鋳 金	代表取締役
支部幹事	関 純	(株) ア ベ ニ ュ ー	専務取締役
支部幹事	鈴木 宏一	(株) 會 芳 産 業	代表取締役
支部幹事	林 一清	(株)ライフ総合研究所	専務取締役
支部幹事	加賀 久也	(有) 今 泉 商 店	専務取締役
支部幹事	庄司 薫	(株)菓子工房COCOイズミヤ	代表取締役

7月支部例会案内

どちらの支部例会にも参加できます。詳細は、e.doyuまたはHPをご覧ください。

置賜支部

逆転発想からの人材育成

- 日 時:7月19日(木)18:30~
- 場 所:伝国の杜
(米沢市丸の内1-2-1 TEL0238-26-8000)
- 報告者:田宮印刷(株) 常務取締役営業部門統轄
阿部和人氏

部下に対して「目標達成意欲がない」「すぐ実行しない」と不満を抱えていた阿部常務。あるセミナーで講師より「あなたが成長を止めている。受け入れる前向きなイメージがない」と指摘され、大きなショックを受けます。「私の何が悪いのか」と悶々とする中、「みんな頑張っているんだ」と発想を転換。自らを見つめ直し、一緒にやろうと何でも言える場づくりから始めました。そして、態度・言葉・聞き方など、自らの行動を変え、人材育成について学びながら仕組みをつくってきた報告です。阿部常務の実践報告をもとに社員の自主性を育てる環境づくりについて学び合います。

さくらんぼ支部

お客様は王様です。

～徹底した差別化でファンづくり～

- 日 時:7月24日(火)18:30~
- 場 所:さくらんぼタントクルセンター
(東根市中央1-5-1 TEL0237-43-1155)
- 報告者:王様の焼肉(株) 代表取締役
小関 淳氏

最高のお肉を皆さまに!! 王様(お客様)も大満足の焼肉店をめざし、現在、中山、山形、天童の3店舗を営業しています。その代表を務める小関社長は、アパレル業界の経験を経て、自分が自信を持って勤められるモノで独立したいと考えていた時に、地元中山町の小学校からの友人の誘いを受け、飲食で勝負する決意を固めました。3年後の焼肉店開業をめざし、東京で修行。ホスピタリティとオペレーションの重要性を学び、2006年8月に3人で共同出資・共同経営で中山店を開業しました。2010年山形店の出店を機に法人化し、小関社長が代表取締役に就任しました。

お客様目線でのサービス、こだわりの接客、魅力的な社員の育成など、リピートにつながる仕組みづくりは、とても刺激的です。ファンづくりは企業の共通課題、小関社長の報告に学びましょう。

山形支部

山形支部7月例会&第1回社員例会 時代に選ばれる企業づくりへの挑戦

- 日 時:7月24日(火)18:30~
- 場 所:山形ビッグウィング 4F 中会議室
(山形市平久保100 TEL023-635-3100)
- 報告者:サンシステム開発(株) 代表取締役
中村友祐氏

社員さんの成長は会社発展の原動力です。山形支部では社員の成長を促すため7月から社員例会を開催します。第1回社員例会は、通常例会と兼ねての開催となります。

激しく変化するIT業界で、事業領域を明確にした経営指針書の実践で社長が先頭となって新たな仕事づくりに取り組んできました。そして、「社長の力だけでは強い会社にならない。社員の力を結集してこそ、会社は発展できる」と考える中村氏は、社員の成長と幹部社員の育成を図るため、職務と役割を明らかにして新しい組織づくりにも取り組みます。さらに、学び合う場として、「サンシステム例会」を実施。経営者と社員が共に学び合う中で、社員さんは自主的に行動するようになり、それによって社長の仕事も変わってきました。中村社長の実践報告から社員の能力を発揮させるためにどうすべきかを学び合います。

寒河江支部

弱みを活かす(ダメだからこそ…)

- 日 時:7月25日(水)19:00~
- 場 所:寒河江市技術交流プラザ
(寒河江市中央工業団地153-1 TEL0237-86-1991)
- 報告者:㈱北斗クラフト 代表取締役
中西和則氏

親会社から自動車整備部門を分離独立する形で、S61年同僚と共同経営をはじめ。業務内容は、自動車整備、板金塗装、車両販売で現在も継続しています。

平成元年頃、同僚が引退し半ば仕方なく経営を引き継ぎます。公認改造では県内でも草分け的な存在になるも、規制緩和により改造分野の売上がほぼゼロに。

戦略変更を余儀なくされるも、小心者で人見知り、おまけにめんどうくさがり屋と売上は急降下。毎朝お天道様に「お客様が来てくれますように」とお祈りする毎日を過ごします。

「ダメな自分をみ・と・め・ましよう」と、あるツールとある人との出会いで、ダメだからこそできる戦略で、営業だけにとどまらず社内活性化にも発揮しつつあります。

「ダメこそ決め手!」と語る中西社長の報告です。

庄内支部

事業領域の再構築で新しい顧客の創造 ～モノ売りからコト売りへ～

- 日 時:7月26日(木)18:30~
- 場 所:酒田市総合文化センター
(酒田市中央西町2-59 TEL0234-24-2991)
- 報告者:㈱寝装こでら 代表取締役
小寺祐也氏

大手寝具メーカーで修業後、入社。当時、寝具の訪問販売で業績は好調でしたが、管理には手が回らず問題が次々発生。それでも営業優先で販売に力を入れていました。しかし、徐々に業績が悪化。小寺氏が社長就任時には主力の訪問販売の社員は16名から3名まで減り、年齢も高い状態に。若い世代を中心とした事業展開の必要性を感じ、悩んだ末「睡眠を売ること」をテーマに「睡眠屋こでら」を開店。そして昨年、全社員で目的を共有し行動するため、第16期経営指針作成セミナーを受講。科学的な眠りの追求から一人ひとりに合った快眠提案でモノ売りからコト売りへ挑戦する小寺社長の報告から市場・顧客の変化にどう対応し、付加価値を高めていくかを考え合います。

最上地域

同友会を知る会

- 日 時:7月23日(月)18:30~
- 場 所:ニューグランドホテル新庄 2F 花梨
(〒996-0025 山形県 新庄市若葉町4-23 電話:0233-23-1111)
- 参加費:5,000円(懇親会費として)

第3回理事会報告

■日時:2012年6月13日(水)13:00~14:40 ■会場:山形市中央公民館大会議室 ■議長:越前屋理事
 ■出席:阿部(和)、伊藤、越前屋、川合、斎藤、佐藤(一)、土屋、安藤、若木、島貫、佐藤(松)、渡会、委任状:後藤、松田 事務局:伊藤、矢作(14名)

越前屋理事が議長を務め、川合代表理事の挨拶で始まりました。
 開会挨拶は下記のとおりです。

「今年度、初めて日中の理事会を開催いたします。理事会終了後に政策学習会が開催され、「中小企業憲章推進月間」として全国で一斉に取り組まれ、山形は比較的早い時期の開催です。

中小企業憲章のベースには同友会の考え方がベースとなっています。中小企業憲章を我々がよく理解し、地域をよくしていくために、人をいかに経営、採用できる企業づくりをめざしていますが、それができているか振り返りの場にしていきましょう」と述べました。

■報告事項

中同協役員研修会について、伊藤事務局長が、山形から7名出席、全体で約100名出席したことを報告。川合代表理事、安藤代表理事より、補足報告があり、参加することで得られるものがあり、次回から積極的に参加していくことを呼び掛けました。

■承認事項(入・退会承認) 入会3名、退会1名 6/13現在401名

*役職変更、組織変更は下記のとおりです。

- ① ㈱カキザキ 山形国際ホテル 副支配人 秋葉正春氏 ⇒ 支配人
- ② ㈱佐藤電気商会 佐藤 太氏 ⇒ 常務取締役
- ③ 寒河江自動車㈱ 専務取締役 高橋勉氏 ⇒ 代表取締役
- ④ ㈲アキバナーセリー 代表取締役 秋葉俊彦氏 ⇒ ㈱アキバナーセリー
- ⑤ ㈱サニックス 専務取締役 佐藤 啓氏 ⇒ 代表取締役
- ⑥ ㈱大達 専務取締役 尾崎 良氏 ⇒ 代表取締役
- ⑦ ㈱デーシーエス(住所変更)〒990-0038 山形市幸町6-1 レッツ学院ビル
- ⑧ ㈱海谷商店(住所変更)〒990-0832 山形市城西町4-17-55

■討議事項

議題1:組織方針の課題について ■提案:安藤代表理事

1)2カ月の到達状況と残目標を確認

支部名	目標数	6/13会員数	残目標	6月例会ワンゲスト数
山形	220	215	5	2
寒河江	60	51	9	2
さくらんぼ	50	40	10	0
置賜	50	42	8	2
庄内	70	52	18	0
最上	20	1	9	
合計	470	401	69	6

*県全体の最高会勢403名まで、あと2名となりました。

2)今後の課題

①ゲスト紹介:理事の方から紹介依頼。

e.doyuにUPし情報を共有する。(変更がある毎にUPしています。)

②「常に増強」の意識で、目標達成に向けて取り組んでいく。

3)最上支部設立に向けての取り組みを確認。

①この数年に、「同友会知る会」に参加していただいた方のリストの整備

②理事、会員さんに紹介していただく。

③支部設立の中心になってもらえる経営者の入会を勧めていく。

④最上地域の「同友会を知る会」を成功させる

●日時:7月23日(月)18:30~

●会場:未定

●報告:川合代表理事

4)新会員オリエンテーションを2カ月に1回開催の確認。

(原則 第2火曜日(14:00~16:30))

議題2:中小企業憲章推進月間の取り組みの件

1)山形の産業政策の学習会(6/13)について、土屋理事より報告がありました。

2)齋藤理事より、山形銀行との学習会について提案があり承認されました。

●日時:7月18日(水)18:30~20:30 終了後、懇親会

●会場:山形ビッグウイング 4F 402会議室

●テーマ:「銀行との上手なお付き合いの仕方」

3)荘内銀行との総括的な連携を検討していると報告がありました。

議題3:東北食と農の見学交流会の件

川合代表理事より、取り組み状況の報告と参加協力要請がありました。

議題4:中同協全国行事誘致立候補の件について

川合代表理事より、第2次中期ビジョンで、2015年に全国行事開催を掲げていることから、「社員教育全国交流会」の開催を立候補することになりました。

■その他の議題

①事務局矢作主任より、山形支部幹事会の要望として、小グループ活動費等の補てんの要望がありました。

②中同協全国総会の(7/12~13 於:岐阜)の参加要請がありました。

③次回理事会日程

●日時:7月11日(水)午後6時30分~午後8時30分

●会場:同友会事務局

●議題:①組織活動について ②第10回経営研究集会の件 ③その他

■閉会挨拶 安藤代表理事

新会員 紹介

◎ 設楽 剛史氏

(有)寒河江衛生管理センター
 業種 浄化槽メンテナンス・
 清掃、スーパー次亜水販売・
 メンテナンス
 寒河江支部

◎ 山下 恭平氏

(株)アイ・タックル 常務取締役
 業種 トナーカートリッジ再生
 事業、高糖度とまと栽培
 山形支部

◎ 菅野 美奈子氏

AISOHO企業組合
 代表理事
 業種 ITサービス、
 Web作成・データ入力・
 パソコン指導
 山形支部

会員名・役職変更

●(株)カキザキ山形国際ホテル 副支配人 秋場正春氏(山形支部)
 ⇒ 支配人へ変更

●(株)佐藤電気商会 佐藤太氏(山形支部)
 ⇒ 常務取締役へ変更

●寒河江自動車㈱ 専務取締役 高橋勉氏(寒河江支部)
 ⇒ 代表取締役へ変更

●(有)アキバナーセリー 代表取締役 秋葉俊彦氏(山形支部)
 ⇒ 株式会社へ変更

●(株)サニックス 専務取締役 佐藤啓氏(山形支部)
 ⇒ 代表取締役へ変更

●(株)大達 専務取締役 尾崎良氏(山形支部)
 ⇒ 代表取締役へ変更

同友やまがた7月号 (2012年7月1日発行/通巻232号)

From Editor

★中同協の役員研修会の記事を書きながら、講師それぞれの講義が90分とまとめるのがとても大変でした。どこをとっても重要なことばかりで、全部伝えるには、紙面と能力不足で、言わんとしていることが伝えきれず、大変申し訳ない。まとめたら、1冊の記録集になるだろう。★中小企業家同友会が1957年4月に誕生し今年55年が経つ。先人達の実践から、「同友会の3つの目的」、「労使見解」の成文化、1990年に「同友会理念」が確立、1993年には「21世紀型企業づくり」の課題を提唱してきている。赤石相談役幹事は会歴50年、鋤柄会長は32年、広浜幹事長は22年と同友会運動の実践者として牽引している。★三者に共通していることは、同友会運動そのものが人生と重なっており、あくなき挑戦を続けている

ことだろう。常にこれでいいのか、どうすればよくなるかと学びを有機的に自社につなげている。今回は自社の実践事例を織り交ぜながら、考え方、問題の捉え方、克服の仕方など、実に現実的に語っていただいた。★特に鋤柄会長の「21世紀型企業づくり」の自社の取り組みが興味を引いた。1995年に3つのキーワードをもらい、①学習型企業②問題解決型企業③ネットワーク型企業が揃ったのが21世紀型企業として、すぐ、経営指針書に書きこんだとのこと。(株)エステムでは、65歳になってから大学院に入り博士号を取得した社員もいる。問題解決型企業を環境ソリューションと位置づけ、今もやり続け、今ではめざましい企業になっているという。高い目標に向かって、自分を磨き成長していきたい。(由)



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴァン 102号
 TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583
 URL:http://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp